

# いたやなぎ 町議会だより

平成28年  
3月定例会

第9号  
2016. 5. 13

主な内容

- 6人が一般質問 P2~5
- 予算特別委員会 P6~7
- 常任委員会審査他 P8~9

まちの宝・子どもたち  
～認定こども園始まる～

撮影場所：板柳第三保育所鶴位

# 町民の声を町政に

## 第1回定例会一般質問

第1回板柳町議会定例会が、3月15日から24日までの日程で開催され、16日に行われた「一般質問」に、6名の議員が登壇しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

### 予算の重点事業



佐藤 洋治

**問** 平成28年度の予算編成に当たり、重点事業と町長の所見を伺いたい。

**答**

(成田町長)

重点事業については、人口減少対策に重点を置いており、独身男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てまで一貫して支援する各種事業を進め、安心して子供を産み育てる環境づくりに取り組んでいくとともに、定住促進のため、地域おこし協力隊事業や子育て世帯の移住、定住を支援する助成などを予定している。また、町民の健康長寿を目指して、健康宣言を実施する考えである。さらに、町の基幹産業である農業及び商工業の振興や地域の活性化を促す事業も拡充、継続し、より豊かな、より快

適な、より元気なりんごの里板柳の創生に取り組んでまいりたい。

所見については、限られた財源の中で、まずは喫緊の課題に対応する事業費を計上した。町をつくる根幹となるのが人であり、何よりも人が大事であるので、人づくりをし、人を呼び込み、人を増やしていく考えを盛り込んだ内容としている。

**問** 潜在的能力が高い民間活力を引き出すような誘導的予算を考えてみては。

**答**

(成田町長)

町の総合戦略は、行政だけでは解決できない課題もあり、民間の活力と知恵を活用してやっていく必要があると考えている。

### 人口減少対策

**問**

我が町の2010年から15年の人口減少率は8.5%と藤崎町や鶴田町より高く、県平均では4.7%であるが、その起因は何か。またその対応について伺いたい。

**答**

(成田町長)

当町の人口減少は、転出者数が転入者数を上回る社会減の増加と、死亡数が出生数を上回る自然減の両方が原因となっている。町の戦略としては、町外への転出を抑制し、町外からの移住を促進して、社会減を少しでも減らす対策、出生数を増加させ、死亡数を減少させて自然減を減らす対策の両方を講じて、各分野それぞれにおいて多様な事業を展開していきたい。

### 米作の将来像

**問**

国の米政策のたび重なる見直しにより、米農家は振り回されている気がする。町独自の方向性を示せないか伺いたい。

**答**

(成田町長)

水田農業については大規模農家への農地集積を推進するとともに、有利な交付金を受けられる大豆や飼料用米への転作に対して支援し、JAとも連携をとりながら、生産者が取り組みやすい環境整備を進めていかなければならない。また、

10ヘクタール以下の中小規模農家については、収益性の高い野菜等への転作を目指して、県とともに地域に合った作物の調査研究を進めたい。

### りんご産業の将来像

**問**

りんご産業は、近年輸出の拡大による品薄感から価格も安定の方向にあるが、基盤整備、作業員の高齢化、わい化改植、品種の更新など課題が山積している。りんご産業の将来像について伺いたい。

**答**

(成田町長)

りんごについては、担い手不足が大きな問題であり、担い手の育成に努めるとともに、農業収入の向上を目指して、りんごの里としての特色ある品種や加工品の開発を積極的に進め、海外輸出も視野に入れた販路の開拓、拡大を目指していきたい。

### ふるさとセンターの活用



今 浩一

**問** 町経済の拠点であり、観光、学び、情報発信の場と多面的機能を持つて

いるふるさとセンターの今後の活用について伺いたい。

**答** (成田町長)  
農産物の付加価値を高め、農家所得の向上と雇用機会の拡大を目指しながら、

今まで培ってきた販売ルートやブランドのネームバリューを活用し、国内はもとより海外への販路拡大を積極的に進めていきたい。

**問** ふるさとセンターの入場者をもっと増やすためにも、339号線のバイパスから直接アクセス道路を実現できないか。

**答** (成田町長)  
現状では難しく、施設にお客さんをうまく誘導できるように案内標識の設置等の充実を図っていきたい。

## 商店街の活性化

**問** 商店街の活性化に向けての今後の展望及び取り組みについて伺いたい。

**答** (成田町長)  
現在プレミアム商品券の発行、祭りやイベントの支援など、商店街のにぎわいを図る施策を講じている

が、根本的な解決策は消費人口の増加にあると考えている。また、商店街の活性化を推進するためには、商店街を構成する経営者の意気込みが不可欠であり、商工会とも連携をとりながら、

人材育成に資する施策を講じていくとともに、官民一体となった取り組みを進めていきたいと考えている。

**問** 商店街の活性化に向けて、町、商工会、商店街、

まちおこしの団体等を交えて、今後の商店街のあり方を考えていく具体的な協議会あるいは実行委員会を設立し、検討していくことはできないものか伺いたい。

**答** (成田町長)  
今後商工会の関係者の皆さんと協議しながらやっていきたい。

## 道路側溝の整備

**問** 町道において道路側溝が未整備な区域について、今後も継続的に実施するのか伺いたい。

**答** (成田町長)  
地域の要望などをもとに整備しているが、今後も、

生活道路の中で道路排水が滞っているところや危険な箇所についてはパトロールなどを行い順次整備していきたい。

## 部活動からクラブ化

**問** 子どもの減少に伴い小学校の児童数も減少してきている中で、学校単位で行われている部活動は運動部を中心に、低学年の参加加入がないとできない状況になりつつある。各小学校単位から全小学校単位でのクラブ化的な考えはどうなのか伺いたい。

**答** (木村教育長)  
管内の小学校においては野球部、陸上部などの部活動を実施している。少子化によって以前より児童数は減っているものの、28年

度も現状どおり各学校とも実施していく予定である。今後子供たちの活動を考えると、野球など一定の人数が必要な活動については、クラブ化等について協議していく必要があると考えているので、クラブ化を進めている地域等も参考にして検討していきたい。



三戸 玲子

## 町組織等の再編成

**問** 次代に即応した、町組織機構の再編成の狙いと理由を伺いたい。

**答** (成田町長)  
地方創生を迅速かつ強力に推し進めるため、人口減少対策や子育て、町民の健康づくりなど、最重要課題として取り組まなければならぬ。このような状況において、新たな行政二

ズに速やかに対応するとともに、少ない職員で、より機動的に、よりわかりやすく親しみやすい役場とするため、行政機構の再編等に係る議案を提案した。

## 待機児童の現状

**問** 現在、共働きでなければ家計を支えられないことから、ゼロ歳児を預けて働くお母さんが多くなっている現状である。当町の待機児童の状況はどうなっているのか伺いたい。

**答** (成田町長)  
板柳管内の保育所入所状況については、平成28年2月1日現在、6保育所合わせて402名の児童が入

所利用しており、現状では待機児童がない状態となっている。しかしながら、年度途中での保育所の入所状況においては、入所希望する対象児童の年齢により保育士の配置基準や施設の面積基準等から、希望する施設への入所が難しい場合もある。今後においても入所を希望される方の相談に応じるなど、適切に対応していきたい。

**問** 保育所に乳児をいつでも入れられる、安心して預けられる体制にできないか。

**答** (成田町長)  
年度途中でもいつでも入れるのは、施設の基準等もあり、容易ではないが、町としても子育てしやすい環境、働きやすい環境をできるだけつくっていききたいと考えている。

**問** 子どもがインフルエンザ等になった場合、働いているお母さんが安心して病後児学級をつくれぬものか。

**答** (成田町長)  
病院側と相談、協議をしてみたい。



葛西 幸男

## 子どものインフルエンザ予防接種

**問** 12歳以下の子供は特にインフルエンザウイルスに対する免疫力が少ない可能性が高く、1回より2回受けると効果があると思われるが、町で一部助成をする考えについて伺いたい。

**答** (成田町長)  
平成28年度においては、乳幼児のインフルエンザへの感染予防、蔓延防止や保護者の経済的負担の軽減及び医療費の抑制を図るために、生後6カ月から未就学児を対象とし、1回につき1000円の助成で、1人2回まで助成するとしている。12歳以下を対象とするお尋ねですが、現状では就学前までの乳幼児を助成対象として実施したい。

## 第3子以降の保育料無料化

**問** 昔から子どもは宝であると言われているが、子どもを3人以上持ちたいと希望する夫婦にとっては子育てや教育の経済的負担が大きな壁となっている。兄弟同時入所の有無にかかわらず、第3子以降の保育料を無料化する考えについて伺いたい。

**答** (成田町長)  
今後の国の動向も視野に入れて、財源確保も検討しながら、子育て世代が安心して子供を産み、そして働きながら子育てができるように、子育て支援対策の充実に向けて検討したい。



成田 陽光

## 「青天の霹靂」の作付推進運動やPR活動

**問** 板柳町はりんごの里ではあるが、リンゴ農家の中でも稲作との兼業が多く、特A米の青天の霹靂の普及というのは農家の所得向上につながると考えられる。

**答** (成田町長)  
PR活動等の現状は県主導ではあるが、当町としての今後を見越した形での作付推進やPR活動の現状を

伺いたい。

**答** (成田町長)

当町における平成27年産の作付は生産者9名、栽培面積が16ヘクタールとなっていて、平成28年産は17名、31ヘクタールになる見込みである。作付面積の拡大を目指して、当町においても西北地域青天の霹靂良食味米生産指導プロジェクトチームの構成員となっており、生産指導を始め情報提供や現地検討会などの活動を展開している。また、町としては昨年の食&農フェスタにおいて来場者への試食会を実施するなど、独自の消費宣伝にも取り組んでおり、今後も展示圃の設置や各イベントでの積極的なPR活動に取り組みたい。

**問** 町内の生産者団体の組織までいかななくても、今ある団体を活用して、青天の霹靂も含めた形で技術交換や生産設備の相互利用などに取り組みながら、ものすごく厳しい青天の霹靂の生産基準を全町挙げてクリアしていくような体制も考えてみては。

**答** (成田町長)  
生産者、関係者が情報交換する場、協議会などが可能かどうか、むしろ必要だと思しますので、前向きに検討していきたい。

**答** (成田町長)

建設事業など将来の住民にも経費分担してもらうことが望ましい場合のみ地方債を経費財源とすることができると地財計画には記されているが、全会計における地方債合計残高はどの程度であって、その上で町財政の健全性は保たれているのか、伺いたい。

## 町財政の健全性



松森 俊逸

**答** (成田町長)

各会計における地方債及び企業債の残額については、平成28年度予算計上分を含めて、元利合計で一般会計43億1900万円、農

業集落排水事業特別会計22億4000万円、中央病院事業会計15億3700万円、水道事業会計2億700万円、公共下水道事業会計32億9600万円、全会計を合わせて115億9900万円となっている。また、町財政の健全性については、平成26年度の決算で全会計とも赤字であり、財政分析指標などの数値をみても、問題のない状態であり、財政の健全性は保たれていると考える。

中央病院事業  
会計の健全性

**問** 不採算医療を担うのが自治体病院の使命であるという意識を持つことが我々町民には必要である。一般財源からも交付税で積算された予算を病院会計に投入している以上、あまり赤字だ赤字だと言うべきではなく、そういう認識を町民の皆様やこの議場にいる我々が持つことが、大切ではないかと思うが、町長の所感を伺いたい。

**答** (成田町長)  
中央病院の経営について

は、経営健全化計画を策定して、改善に取り組んできた。この間、一般会計から基準外の繰り出しや病院の自主努力により、資金不足が解消され、平成27年度当初では16年ぶりに運転資金としていた一時借入金をすることなく、5359万9000円の自己資金を期首財源として確保することができた。また、本年度の収支推計において純損益及び単年度資金収支がともに赤字となる見込みで、救急医療などの不採算部門を担う自治体病院の事業会計としては極めて健全性を保っているものと考えている。

C-1の使い分け

**問** 町章とふるさとセンターを中心としたC-1(コーポレート・アイデンティティ)に使われたロゴマークの使い分けをどのように考えているのか伺いたい。

**答** (成田町長)  
町章についてはいわば紋章であり、町主催の各種式典など公式行事で使用しており、シンボルマークに

については、日本一のりんごの里づくりを目指す町の統一イメージとしてパンフレットなどで使用している。両方とも使い分けに関して、は特に基準を設けていない。

TPP発効に伴う  
基幹産業への影響

**問** 当町基幹産業である農業、米、リンゴについて、TPPの発効後の影響についてどのように考え、そしてそれに対して今どのような対策を準備しているのか、またするのをお伺いしたい。

**答** (成田町長)  
青森県TPP協定対策本部において、米、リンゴについては、高品質生産を基本に省力低コスト化を推進するとともに、水田農業においては飼料用米や大豆の生産拡大を始め、収益性の高い複合経営への転換を進め、リンゴにおいては競争力のある産地形成と担い手育成を図り、輸出拡大を目指す方針となっている。町としては、県本部の対応策に即した形で国と県と一体となった取り組みを進めてまいりたい。

**問** TPPの実施に伴い、農家の減収分を新しい保険をつくって補償するのが一番実効性のある方向だと国のほうで動きがある。現在は制度設計の段階であり、関係自治体の首長たちと県も巻き込んで、よりよい保険制度にする働きかけを今の段階で動いていただきたい。

**答** (成田町長)  
収入保険制度ですが、まだ不透明な部分があるので、今後制度の情報収集に努めながら、青森県町村会や関係団体を通して国及び関係機関へ要望したい。

常盤町、JR踏切の幅員について

**問** 通称常盤町のJRの踏切、正式名称「大釈迦道踏切」は47年間、幅員に関しては一切変わりはないが、あの踏切に関してどのように考えているのか伺いたい。

**答** (成田町長)  
これまでも踏切の拡幅を含めた道路改良の要望をしてきたが、用地取得の問題、JRとの協議が必要など

と、県の財源の問題などで事業化に至っていない。町としては、事業化のために用地取得など地元の協力体制が不可欠であるので、地権者の皆様の意向を再調査し、町民の安全確保のために事業化されるよう、今後も県に要望したい。

義務教育課程の  
教育振興の方針

**問** 中学校校舎の早急な整備と小学校4校の再編についての考えを伺いたい。

**答** (木村教育長)  
中学校校舎の建てかえを視野に入れ総合的な判断が必要という耐力度調査の鑑定結果を踏まえ、長期的な財政状況や児童生徒数の状況を考慮し、小中一貫教育も含めた学校施設の整備計画について町長部局と協力し早急に検討したい。

**問** 中学校校舎の整備と小学校の再編について、町民への説明会等は行っているのか伺いたい。

**答** (木村教育長)  
現時点では町民への説明会は行っていない。

# 予算特別委員会 総括質疑

平成28年度の各会計予算を審議するため、議員全員で構成する予算特別委員会（委員長・三戸玲子議員／副委員長・長内良蔵議員）を設置し、3月23日・24日の2日間にわたり詳細に審議しました。

数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。

※平成28年度各会計予算の詳細については、広報いたやなぎ4月号に掲載されています。

■質問 今浩一委員  
昨年よりも50万くらい警備保障委託料が上がっている理由は。

▲田澤総務課長  
新年度からシルバー人材センターに夜間の宿直をお願いすることになり、協議の結果、若干単価がアップした。

■質問 今浩一委員  
地域おこし協力隊の隊員報酬費400万、補助金280万の詳細と活動内容は。

▲石澤経済課長  
現在1名、4月から委嘱し、引き続き1名募集中ということで、報酬として月額16万6000円で2人分見ている。また補助金は、隊員の活動費ということで1人当たり140万円で2人分計上している。内訳としては板柳町に住所を移して町民になるということ、アパートや借家の住居費、活動するための旅費、事務的な経費、研修などの経費である。

■質問 今浩一委員  
地域おこし協力隊は、農家限定、農業限定という枠組みで進めていくものなのか。

▲石澤経済課長  
地域おこし協力隊は、町のいろんなイベントや町おこしにかかわり、農閑期や冬期間の何もない時期は農業以外のまちおこしにつながるような事業にも協力していくものである。

■質問 今浩一委員  
以前はクラフト小径サポート委員会に交付金を出していたのが、今回クラフト実行委員会への直接の補助となった経緯は。

▲石澤経済課長  
来客者数も年々増えていて、定着したのではないかといいことで、28年度からサポート委員会を解散して、一般の各種実行委員会と同様に資金面で支援するということが、今回実行委員会への補助金という形で予算を組んでいる。

◎要望 今浩一委員  
クラフト小径自体は、すばらしいイベントだと思つので、経済課主管なら実行委員会のほうに町・商店街・商工会の意向などを十分話し合い方向に行くように、調整してほしい。

■質問 成田陽光委員  
現状で認定子ども園の認可がおりている施設があるのか。

▲田邊健康福祉課長  
平成28年4月より2カ所現在申請中であり、県からまだ正式な通知が来ていないが、近々通知を出せるということでは伺っている。

■質問 成田陽光委員  
社会教育費の報償費の中の謝礼で219万9000円計上されているが、中身を教えてください。

▲大井生涯学習課長  
社会教育費の謝礼については、217万5000円が学校支援のコーディネーターに支払う謝礼。そのほか、2万4000円が青少年活動指導員への謝礼となっている。

■質問 三戸正市委員  
県道の五幾形から高増、常海橋のルートが決まっているのか、それから上常海橋から浪岡への7号線のルートは決定しているのか。

▲村上建設課長  
津軽横断道路の五幾形から高増、上常海橋、そして五林平藤崎線のバイパスまでの区間であるが、ここは現在町道になっており、町としては県道への昇格と早期整備を県のほうに要望し、現在協議を進めている。

次に、福館から浪岡の青森管内であるが、現在測量と用地買収が進められているところである。

■質問 佐藤洋治委員  
ひとり暮らしの高齢者などの買い物弱者対策として、コミュニティバスみたいなものを考えては。

▲成田町長  
コミュニティバスについては、大変重要であるが、すぐにはできるものでなく、今後検討していく課題である。

■質問 佐藤洋治委員  
子育て支援センター運営委託料はどういうものなのか。

▲田邊健康福祉課長  
板柳第一保育所鶴住と小阿弥保育所鶴住の2施設で実施している、子育て親子に交流の場を提供し、子育てに関する相談、援助、講習など実施するものである。

■質問 佐藤洋治委員  
町女性職員の登用をどういふふうに考えているのか。

▲村上副町長  
男女区別なく優秀な者は優秀な者として登用していくのが基本と考える。

■質問 佐藤洋治委員  
板柳町結婚活動支援事業費補助金というのがあるが、どういふ形で行うのか。

▲大井生涯学習課長  
20歳以上の独身男女を対象とし、交流イベントを実施する町内に在住する5名以上の団体に交付する予定である。内容としては、交流イベントの主な会場は板柳町内とし、参加者は10名以上とし、その3分の1が町内在住者ということで、参加者1名につき4000円、またはその団体に対して15万円のいずれか低いほうの額を交付する予定である。

■質問 松森俊逸委員  
選挙の投票時間を2時間短縮した経緯並びに効果は。

▲田澤総務課長  
従事職員の経費が若干抑えられるのと開票結果の公表が早くできるということを進め

た経緯がある。

■質問 松森俊逸委員

空き店舗対策の実績は。

▲石澤経済課長

これまで活用された方は1件だけであり、内容は飲食店である。

■質問 松森俊逸委員

恒常的に募集していると思うが、応募もないということか。

▲石澤経済課長

ホームページ、回覧等で毎年度募集はしているが、日中のにぎわいを創出するための空き店舗の活用ということで考えており、夜間営業だけの店舗については交付していません。問い合わせは2件ぐらいあったが実施までは至っていない。

■質問 松森俊逸委員

商工振興費に関しては探せばもっと補助事業のメニューがあるような気がするので、研究していただきたい。

▲成田町長

全国でどういった事例があるのか、少し時間をいただきたい。調査研究してみたい。

■質問 成田肇委員

子育て世帯定住サポート補助金の事業内容を詳しく教えてください。

▲村上企画財政課長

町外から転入して、町内に住宅を取得して居住する子育て世帯に対して住宅取得費用を助成するものであり、転入

して町内に住宅を取得し、年度内に定住する場合には取得費用の5%、上限100万円の補助で、さらに、建築に町内業者を使った場合は1%のかさ上げで最大で20万円である。

■質問 成田肇委員

弘前大学共同研究費負担金27万ですが、この研究内容と研究の成果をお知らせいただきたい。

▲石澤経済課長

内容としては、赤肉品種であるHFF33の木の仕立て方(剪定の仕方、育成の仕方)を双方でやっていくという状況である。

また、赤肉(紅の夢)というのを活用して新たな加工品の試作ができないかということと、りんごワークのほうと一緒にやって、ジュース、ジャム、ゼリー等試作していて、先般も香港のほうで試験販売している。

■質問 成田肇委員

例えば、勤務時間内にほかの違う仕事をして、勤務時間過ぎてから自分の仕事に取りかかるというようなことは、どのように考えているか。

▲田澤総務課長

日中、緊急的に私的な用事があつてやむを得ず夜間というか、5時以降も仕事をし、処理しなければいけない場合もある。

◎要望 成田肇委員

勤務時間内にあまり私的な用を足さず、勤務時間内に精いっぱい勤めるよう、総務課長にはいろいろ目配りをして、職員の資質の向上にも努めていただきたい。

■質問 成田肇委員

農作業省力化対策事業費補助金に関連して、商工業者省力化対策事業補助金というような商工業の方に機械等の補助金を考えていただけませんか。

▲成田町長

まずは機材等にどういったものがあるのか、調査してみたい。そしてまた、商工会等の関係団体とその辺を協議していきたいと考えている。

■質問 葛西清人委員

消防団員の報酬360万9000円とあるが、この報酬というのはどういうものなのか。出勤費用弁償120万円あるが、1回出ればどのぐらい出るのか。

▲田澤総務課長

団長が年4万円、副団長が年2万9000円、団つき分団長が年2万円等々、団員が年1万円で、予算化している。出勤費の費用弁償は、1人1回2000円で、延べ600名程度で計上している。

◎要望 葛西清人委員

費用弁償については、弘前地区消防事務組合ということを出動範囲が広がる可能性

があるので、今後現状に合ったものを考えてほしい。

■質問 長内良蔵委員

農作業省力化対策事業補助金で、144万2000円ついているが、どういう事業に予定しているのか。これに伴って、今リンゴの受粉の関係でスピードスプレーヤーにとりつける受粉器が14万5000円ということが発売されているが、これも対象にならないのか。

▲石澤経済課長

町単独事業であり、50万円未満の省力化に資する機械への補助事業であり、新規就農に関しては2分の1補助、それ以外は10分の3補助となっている。スピードスプレーヤーに装置する受粉器は、格段の省力化になるので補助の対象にしている。

■質問 長内良蔵委員

小型動力ポンプ1187万1000円は予算的にポンプ車ではなくて、可搬式のポンプ車だと思うが、可搬式については地元の団員へも説明したのか。また、なぜこの分団の更新が遅れたのか。

▲田澤総務課長

更新できなかった大きな理由として、ポンプ車だと以前に比べて車体が大きくなり、現状の屯所に納まらなく用地取得や屯所の建て直しも検討しなくてはいけないという財政的な問題があった。その中

でいろいろ検討した結果、可搬式のポンプ車なら現状の屯所に納まると分かり、導入を考えたものである。地元団員についても状況を説明しながら、了解の上でこういう形をとっている。

■質問 長内良蔵委員

日本一の板柳町消防団のあの堂々たる観閲式が見られなくなるのは寂しい気がするが、今後の広域統合での観閲式のあり方について説明してほしい。

▲田澤総務課長

当町の消防団は、中弘地区消防協会へ4月1日より移籍するため、そちらの観閲式に参加することになる。出初め式については引き続き町で行うことを考えている。

■質問 久米田亥佐雄委員

福祉バスの手配が非常に不便であり、バスの使用時間を例えば9時に出かけて、帰ってくるのが4時か4時半ごろというようにもう少し何とか長くならないものか。

▲田澤総務課長

出発前、帰った後、さまざま整備点検や清掃等があるが、町民の要望に応えるように進めていきたい。

# ●● 一目でわかる 審議結果 ●●

## ◆第1回臨時会 【以下結果：全員同意】

議案
板柳町監査委員の選任につき同意を求めることについて（新任：北畠弘美氏）

## ◆第1回定例会 【以下結果：全員可決】

議案	
町道の路線廃止について	板柳町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について
町道の路線認定について	
板柳町職員の退職管理に関する条例の制定について	板柳町職員の給与に関する条例の一部改正について
板柳町行政不服審査会条例の制定について	板柳町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について
行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	
板柳町課設置条例等の一部改正について	板柳町就学指導委員会条例の一部改正について
板柳町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	板柳町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営等の基準に関する条例の一部改正について
板柳町職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について	平成27年度板柳町補正予算（板柳町一般会計ほか7件）
板柳町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	平成28年度予算（板柳町一般会計ほか8件）
板柳町議会議員期末手当支給条例の一部改正について	板柳町議会委員会条例の一部改正について（議員提出の議案）

# 議会の動き（1月～3月）

開催日	会議等名・出席者名	開催日	会議等名・出席者名
1月	8日 町例月出納検査(監査) 安田(久)前議員	3月	2日 国保健康保険運営協議会
	18日 議会だより編集特別委員会 委員4名		4日 町例月出納検査(監査) 安田(久)前議員
	20日 西北津軽郡町議会議長会 議長・事務局長会議 安田(弘)前議長		10日 臨時会
	26日 議会だより編集特別委員会		〃 議会運営委員会(3月会議日程等)
2月	2日 議会だより編集特別委員会 委員4名		11日 議会運営委員会(定例会案件)
	8日 町例月出納検査(監査) 安田(久)前議員		15日 本会議(定例会日程、町長の提案理由等)
	19日 青森県後期高齢者医療広域連合 議会定例会 安田(弘)前議長		〃 議会運営委員会(定例会案件)
	24日 弘前地区環境整備事務組合 議会定例会 成田(肇)議員		16日 本会議(一般質問・6人)
	〃 津軽広域連合議会定例会 長内議員		22日 総務産業厚生常任委員会 (所管事務調査)
	〃 弘前地区消防事務組合議会定例会 今議員		〃 福祉建設文教常任委員会 (所管事務調査)
	25日 議会運営委員会 (3月会議日程等)		23日 予算特別委員会(新年度予算審議)
	26日 西北五広域福祉事務組合 議会定例会 三戸(玲)議員		24日 議員全員協議会(定例会追加案件) 議員11名
29日 議員全員協議会 (町諸案件等) 議員11名	〃 本会議(委員長報告、採決、閉会)		
			29日 りんごワーク研究所理事会 葛西(清)議長、三戸(玲)委員長

※出席者記載のないものは議員(委員)  
全員出席したもの



# 常任委員会 審査

## 総務産業厚生 常任委員会

### ■クラフト小径

町や町民に恩恵はあるのか。

Q 3回目となるが、年々来客数は増え、今回は約2万6000人の来場者があった。期間中は近隣の食堂や喫茶店などの売り上げが倍増しているという声もある。また、開催につき印刷物やその他準備にかかる物品等も町内の商店で購入しているの、町の経済活性化につながっている。

### ■防犯灯のLED化

Q 町が防犯灯のLED化を進めたが、維持管理はどこが負担するのか。また費用等は従来と比べてどうか。

A 維持管理についても町が負担する。従来と比較し、

約300万円ほど費用が少なくなる見込みである。

Q 中心商店街の街路灯もLED化したのか。

A そこについては町で管理をしておらず、町内あるいは商店会が設置及び維持管理をしている。町内会や商店会の会費で維持管理をするのが厳しいという話もあるなか、町の中心地の防犯対策、街灯という役目を非常に大きく担っているの、電気料の支援などを検討したい。

### ■国際交流員の活用

Q 国際交流員の翻訳により、町ホームページの中国語版の作成を進めてみてはどうか。

A ホームページの作成にかかる費用対効果などから、必要性を検討している段階である。

Q 農業研修などで、中国から来訪者がある場合など、相談できるのか。

A 中国の方が何らかの形で来町、あるいは町民が中国に行く際のさまざまな情報提供など、必要があれば、可能な限り対応したい。

■空き家対策及び人口増加対策

Q 例えば空き家をリフォームして、転入者を呼び込むなど、空き家対策と人口増加対策と一緒にできるような事業はできないものか。

A 空き家対策ということ、子育て世帯定住サポート補助金として、中古住宅購入で5%（限度額100万円）、さらに町内業者によるリフォームを行った場合はさらに1%（限度額20万円）の補助金を支給する。また、今後さらにホームページによる物件の情報発信など、対策内容を充実できるように検討したい。

### ◆陳情

「所得税法第56条廃止を求める意見書」の国への提出を求める陳情 継続審査

## 福祉建設文教 常任委員会

■年金生活者等支援臨時福祉給付金

Q 低所得の高齢者向け給付金の対象者数や概要は。

A 対象見込み者数として

2133名を見込んでいる。給付額は1人3万円

Q 申請時の書類が煩雑で、高齢者には、理解しづらい部分もある。様式は全国统一のものか、それとも町で簡略化できるものか。

A 国が作った様式を参考にして町でつくっている。

### ■斎場施設及び設備

Q 斎場の暖房ほか施設の不良が目につくが、対処できないか。

A 不良状況や、場所、物によって優先順位をつけて修繕する状況である。例えば、1号炉に関しては大分古いので、全体改修が必要な時期となり、改修を検討していきたい。

### ■農道舗装

Q 沿川地区の農道舗装が遅れているように思われるが、整備はいつごろになるのか。

A 農道舗装については、今年も予算計上しているが、どの路線を実施するかについては、もう一度現地を精査して、地域のバランスも考慮しながら検討したい。

## 議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です

<議会日程のお知らせ(予定)>

月日	内 容
6月3日(金)	本会議 特別委員会報告、提案理由の説明等
6月7日(火)	本会議 一般質問
6月8日(水)	常任委員会 総務産業厚生・福祉建設文教
6月9日(木)	本会議 委員長報告等、質疑、討論、採決

※開催時間はいずれも午前10時です。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも傍聴することができます。人数は51人以上は、

◆陳情 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情 継続審査

■40歳がん検診無料とあるが、その概要は。  
A 現状の健診の実施方法の中で、28年度に40歳に達する方限定で無料で実施したいと考えている。

# 編集後記

板柳町議会も新しい顔ぶれになり、編集特別委員会委員長をこの度、拝命しました成田陽光です。三月で任期を終え、ご勇退された議員の方々には、これまでのご功績に感謝しつつ、劳いの言葉とともに拍手を送りたいです。板柳町発展のためにこれからも多方面でのご活躍をご期待申し上げます。また住民の皆さまにより分かりやすく親しみやすい議会広報を作るべく、新生編集委員一同努力する所存です。そして開かれた板柳町議会にするためにも、皆様の議会傍聴をお待ちしております。ぜひお越しください！

## 【発行責任者】

議長 葛西清人

※第10号発行予定は8月12日頃です。  
議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。

# ●おらほの議員●

- ① 所属委員会
- ② 趣味



くめたいさお  
久米田 玄佐雄 (下常海橋)  
① 福祉建設文教常任委員会  
② ドラム演奏



なりた ようこう  
成田 陽光 (牡丹森)  
① 総務産業厚生常任委員会  
② 旅行



さとう ようじ  
佐藤 洋治 (柏木)  
① 総務産業厚生常任委員会  
② 釣り



おさない りょうぞう  
長内 良蔵 (五幾形)  
① 福祉建設文教常任委員会  
② ドライブ



さんのへ しょういち  
三戸 正市 (高増)  
① 総務産業厚生常任委員会  
② 釣り



なりた はじめ  
成田 肇 (大蔵町)  
① 福祉建設文教常任委員会  
② ゲートボール



きたばたけ ひろみ  
北畠 弘美 (館野越)  
① 総務産業厚生常任委員会  
② スポーツ観戦



まつもり しゅんいつ  
松森 俊逸 (東雲町)  
① 福祉建設文教常任委員会  
② サックス演奏



こん こういち  
今 浩一 (博労町)  
① 福祉建設文教常任委員会  
② バスケットボール



かさい ゆきお  
葛西 幸男 (いたや町)  
① 総務産業厚生常任委員会  
② 映画鑑賞



かさい きよんど  
葛西 清人 (太長)  
① 福祉建設文教常任委員会  
② 登山



さんのへ れいこ  
三戸 玲子 (日新)  
① 総務産業厚生常任委員会  
② レクリエーションダンス

## 【議長】

## 【監査委員】